

秋田県沖合域の水温状況 (平成29年2月)

漁業調査指導船「千秋丸」により2月22～23日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表 層 「やや低い」～「平年並み」水温です。
- 50 m層 「やや低い」～「やや高い」水温です。
- 100m層 「やや低い」～「かなり高い」水温です。
- 200m層 「やや低い」～「はなはだ高い」水温です。
- 300m層 「やや低い」～「やや高い」水温です。

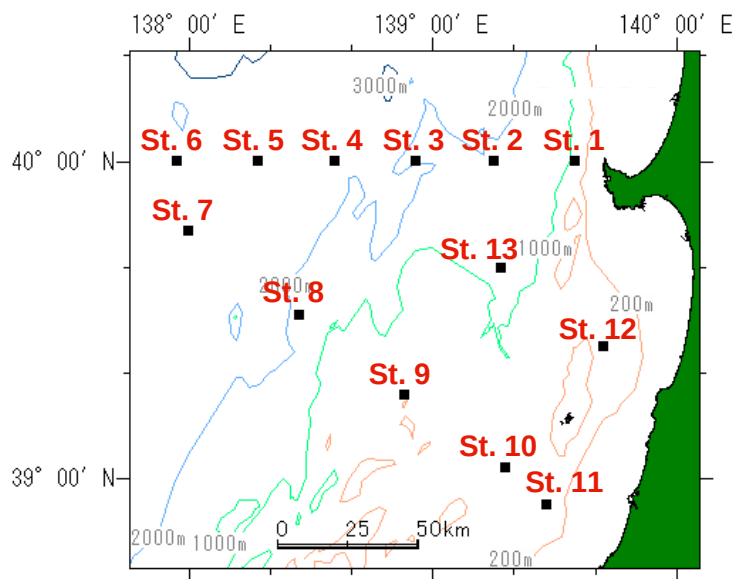


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

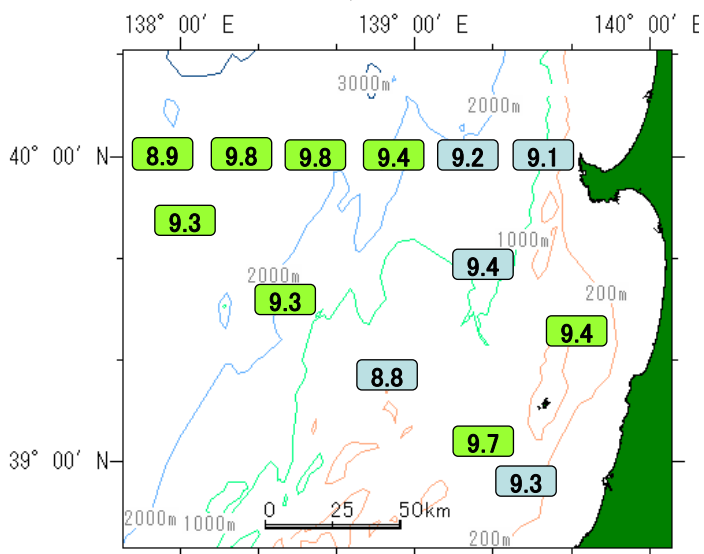
表1 水温の評価区分

評価	偏差*	
はなはだ高い	+ 200以上	(出現確率約20年以上に1回)
かなり高い	+ 130以上200未満	(出現確率約10年に1回)
やや高い	+ 60以上130未満	(出現確率約4年に1回)
平年並み	± 60未満	(出現確率約2年に1回)
やや低い	－ 60以上130未満	(出現確率約4年に1回)
かなり低い	－ 130以上200未満	(出現確率約10年に1回)
はなはだ低い	－ 200以下	(出現確率約20年以上に1回)

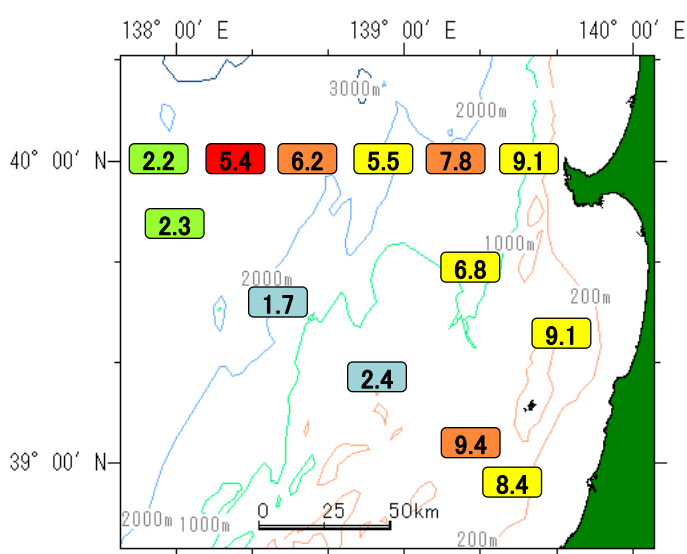
* 偏差＝(観測値－平年値)／平年標準偏差×100

平年：1981～2010年の30年間

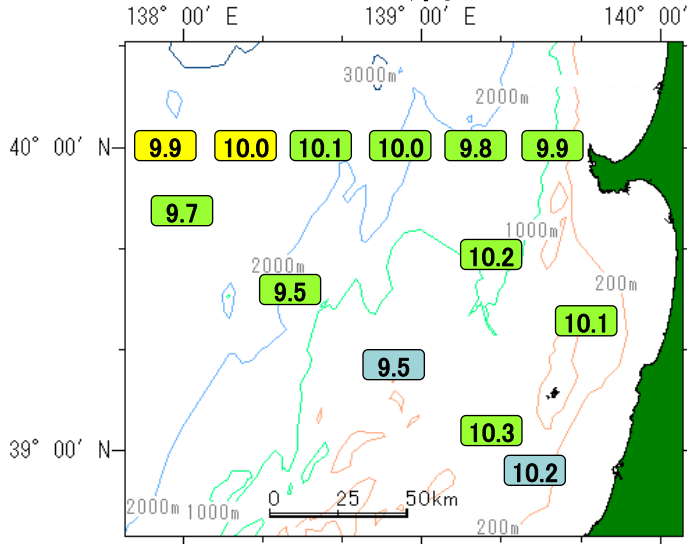
<表層>



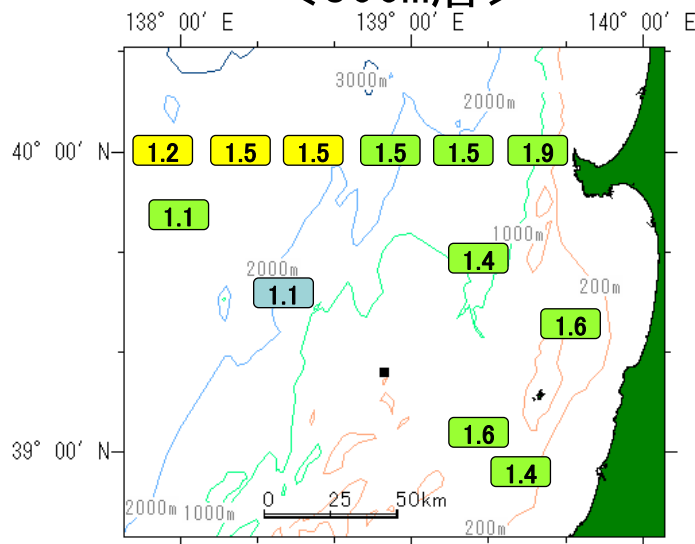
<200m層>



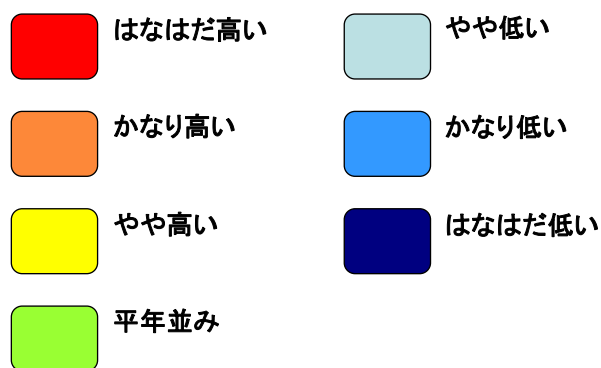
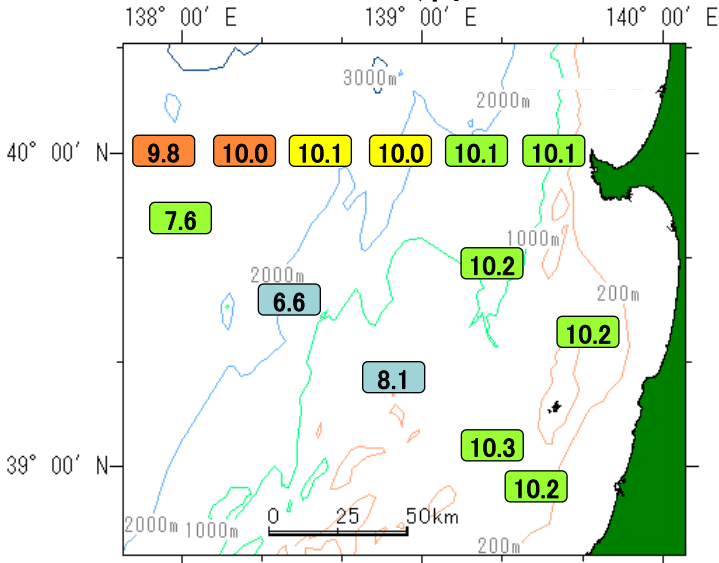
<50m層>



<300m層>



<100m層>



<図2 各層の水溫観測値(°C)と評価>